

一般国道54号(可部バイパス)建設に伴う埋蔵文化財
トンガ坊城跡発掘調査通信

とんがぼ 第7号

(財)広島市文化財団
文化科学部文化財課

そろそろ秋が...

まだ現場を照らす日差しは強いですが、ただただ暑かった発掘調査現場にも心地よい風が吹くようになりました。徐々に秋が近づいているのを肌で感じるようになってきています。

夏休み発掘調査隊

小・中学生を対象とした発掘調査体験が8月20日(日)にトンガ坊城遺跡で行われました。実際に遺跡を掘って土器を見つけたり、住居跡を測量するといった発掘調査で行われる作業を体験してもらいました。

暑い1日でしたが、夏休みのいい思い出になったでしょうか？



「ガッツでがんばるのだ!!」



みんな熱心に説明を聞いてます。



いよいよ道具(ガリ)を持って発掘開始!



二人一組で遺構の実測。正確に描けたかな?

遺物紹介

ヤリガンナ (鉋)

木材の表面を削るための鉄製の槍 (ヤリ) のような形をした道具です。

弥生時代から古墳時代の遺跡から多く出土し、後世に台鉋 (だいかんな) が用いられるまで使われていたものです。

今でも、ヤリガンナは昔ながらの技術が必要なお寺や神社の建て替えの際に使われています。



出土したヤリガンナ (処理前)



この絵、は中世の建築現場の絵です。ヤリガンナを使っている人が描かれています。

こんなふうにして使う道具なんです。

出土したヤリガンナなど鉄製品の多くは、サビや土に覆われていて、ボロボロの状態です。

持ち帰った鉄製品は、土やサビをきれいにクリーニングして、形を保つために薬品を使って保存処理されます。



トンガ坊城跡発掘調査に関するお問合せ
財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
広島市東区光町二丁目 15 番 36 号
TEL082-568-6511

ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>
メール hbb@mogurin.or.jp

発掘調査現場直通 090-6433-6743